



天目

発行日

平成29年5月1日

お坊さんはなぜ髪がないのか？

「どうしてお坊さんには髪がないんですか？」先日、建長寺の境内ですれ違った小学生の一人に矢継ぎ早に質問されました。「フアッションですか？」
「シャンプーしますか？」と。

情けないことに私は返答に窮し咄嗟に「規則だから」となんとも愛想のない答えでその場をやり過ぎました。話上手な栖雲寺さんであれば咄嗟のアドリ

ブで面白おかしく説明してあげられるのでしょうかが私にはその方面の才能はないようで「仏教界の不可避の伝統的慣習だから」、「清潔感や緊張感を内外に示すため」など極めて次元の低い発想しか思い浮かびません。実際勉強不足の為、お坊さんのヘアスタイルが剃髪に至った経緯は全く知りません。世の中には有髪のお坊さんも大勢いますが、坊主頭という言葉があるとお坊さんはやはり髪が無いのが一般的です。前述の疑問は子供だけでなく大人でも思っている人が多いのではないかと感じ、次の機会ではもう少ししまともな応対ができるようにと一念発起し、知り合いの老僧を訪ねて勉強することにしました。

老僧曰く、「僧侶が髪の毛を剃らなければいけない理由は諸説あるがの、代表的なものは二つあげられる。一つは単純にお釈迦様の真似をしているという説じゃ。約二千五百年前にお釈迦様が修行をなさっていた時、お釈迦様は剃髪されておった。そして多くの弟子たちがお釈迦様と同じ姿になれば自分も悟りを開くことができるのではないかと考え真似したということが現代のわしらまで引き継がれているというものなんじゃ。そしてもう一つは髪の毛は人間のエゴ、煩惱の象徴であるということじゃ。他者との相違に一喜一憂し心が高ぶったり逆に自らを卑下すること、容姿へのこだわりは人の業じゃ。つまりは煩惱じゃ。僧侶の修行には害毒じゃ。」と。

先人たちは剃つてもすぐに伸びてしまう頭髮に悟りの道への妨げを感じ、それを常に剃り落とすことで煩惱を断ち切れという仏教の教えを体現したということなんですね。

聞けばなるほど納得の含蓄あるお話でした。老僧が云わんとしたことはつまりお坊さんのツルピカ頭はお坊さんの戦う姿ということでしょうか。真偽が曖昧なのが若干不安ではありますが、自らの不勉強を痛感する良い機会になりました。若僧に勉強は必須なのですね。

今回は、建長寺の財務部と一緒に仕事をしている後輩、大蔵和尚様に執筆をお願いしました。

※今回は、建長寺の財務部と一緒に仕事をしている後輩、大蔵和尚様に執筆をお願いしました。



臨済宗建長寺派 天目山 栖雲寺 住職 青柳真元

〒409-1201 山梨県甲州市大和町木賊122 TEL 0553-48-2797

<http://www.tenmokusen.or.jp> または [栖雲寺] で検索 ブログはほぼ毎日更新

天の目が山に入る

天目山の下にもう一つ山をくつつけると・・・

「天目出」栖雲寺は「天（てっぺん）の目が出る」縁起の良いお寺なのです。

実は、毎年栖雲寺と摩利支天様にお参りに来る静岡の男性から、宝くじで一等の壺千萬円に当選したとのうれしい報告。「摩利支天様のおかげです」と多額浄財もご寄進いただきました。

除災の神様、勝利の神様として名高い摩利支天様は、蓄財の神様としても有名で、金運上昇の御祈願をされる方も非常に多くいらっしゃいます。

摩利支天真言「オン マリシエイ ソワカ」と何度も念じれば、それは天の目を出す力へと変わり金運上昇。



災難を除き、幾多の勝利が皆様のもとにも届きますよう、心よりご祈念申し上げます。

お堂内に奉納できる小サイズの旗を新たに作りました。参道にお立てするものと大小二種類。ご希望の方はお申し出ください。

マニ像は福岡へ 軍配は新潟へ

県文「十字架捧持マニ像」が、福岡の九州国立博物館に展示されます。栖雲寺に來た経緯は謎ですが、元の国から九州に上陸したことは間違いなく、数百年ぶりの故郷訪問となります。

また新潟県立歴史博物館の企画展「川中島の戦い」には、謙信との一騎打ちで信玄が刀を受け止めたと伝わる市文「鉄製軍配」を出品。

各博物館での展示期間

福岡	マニ像	平成二十九年	十月十四日～十一月十二日
新潟	軍配	平成二十九年	九月十六日～十月五日

天目山茶会 .. なんじゃこれは ..

第一回のお茶会を開催。拙僧が席主となり、石庭をご覧いただきながら、お話しをさせていただきます。

栖雲寺庭園を初めて見た人みんなが感じる、

①わーすごい石の庭 ②とここでこれってなんだ？

「なんじゃこれは」をテーマにした、他の茶会では味わえない、他に類を見ない催合です。

喜寿を迎えられた建長寺の吉田正道老師。管長三十年の節目にもあたり、記念墨跡展を同時に開催。是非お出かけください。

日時 六月十七日 九～十五時 志納 500円

四月十六日の檀家総会で、総代長が天目区の三枝留夫氏に決まりました。これから力を合わせ、由緒ある栖雲寺を盛り上げていけたらと思います。どうぞよろしくお願い致します。

他の総代さんにつきましては、次号で報告いたします。

